

おおい図書館

発行
代
No. 95
おおい図書館
青木 和子
松本市牧の原 104-416
TEL 047-311-0886

各地の図書館

見聞記

静岡とアメリカの図書館事情をお伝えします。

それぞれ、おつれあいの転勤先で訪れた図書館の見聞記です。

静岡県静岡市〇さんより

昨年(2003年)夏、夫が静岡に転勤し、4月に小3の息子共々引越して参りました。2年程松戸の自宅を留守にすることになります。が、「おおい図書館」の活動は、まさに私の気持です。

転勤族の夫と共に、広島・浦和・都内・奈良・神戸と回って来ましたが、松戸ほど図書館行政の貧しい街はありませんでした。

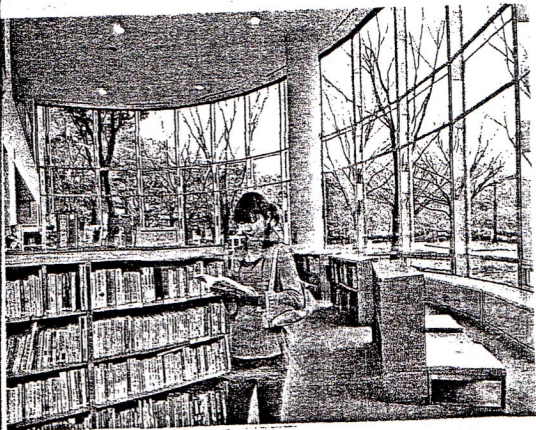
ここ静岡も、県として「どくしょ県・静岡」を提唱し、市としても各学校に司書が配置され、それでもまだまだ……と市民が頑張っている町のようです。

家の目と鼻の先にある公園内(かなり大きいです)に中央図書館があります。月曜日も開館しています。休館日は、第2・第4の水曜日です。

息子は学校から帰ると、度々ひとりで出かけては本を借くて

います。また、公園で遊んでいて蟻を見ていた時、お友だちと図書館にかけ込んで蟻のことをいろいろと調べてきたようで、家に帰るなり、「お母さん!! 図書館ってすごいんだね。いろいろな本がたくさんあって……」と話した時は、松戸にいる時にはなかったことだなあーと、うれしいような淋しいような気持ちになりました。こちらの良いところをたくさん吸収して戻りたい、と、思っています。

「おおい図書館」の会報は、ま



たお送り下さいますよう、今後ともどうぞよろしく、お願いいたします。

アメリカ・ヴァージニア州

下さんより

今年3月末に帰国しました。
ワシントンDCの郊外にあった家の近所(歩いて10分程)の図書館は、「アーリントン・カントウリー・パブリック・ライブラリー」といいます。

月曜(水曜は夜の時まで開館)していて、私たちも夕食後よく利用しました。会員になるのも簡単で私たち外国人でも、家に届いた郵便物を持って行けば、会員になります。

2階には、コンピューターが、たくさん(20台くらい)あったり古い本を販売しているコーナーも

あり、ホールには必ず何か展示してあったり、ディスプレイも行くたびに変わっていて楽しめました。

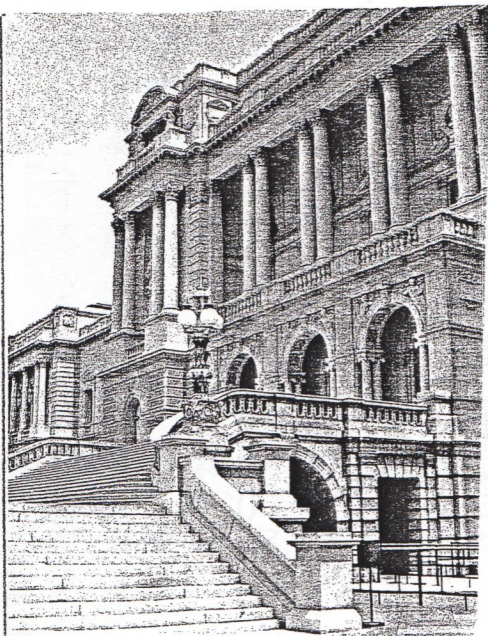
1階の「キッズ・コーナー」は絵本も大変充実していて、大きなソファアールでお父さんが子どもに絵本を読んであげていたり、寝そべって本を読んでいたりして、皆さん、家のリビング・ルームのように利用していました。集会室・多目的ホールのようになへやも幾つかあり、中南米からの移民・労働者のための無料の語学教室なども開かれています。知合いも増えるからと、息子も通っています。そこで、の友だちづきあいは、帰国した今も続いています。

無料の講演会もよくあり、一度夫婦で出席しました。「街の通り」の名前の由来についてという講演でしたが、解説の後、

出席した方々が色々な意見を言い合っているのが印象的でした。日本の教室の4倍程の広さで、出席者も多く、杖をついたお年寄も一人で参加して、「昔はこうだった」となどと盛んに発言していました。私は半分も理解できませんでしたが、面白い体験でした。ただ、黒人の方は一人もおらず、東洋人も私たちだけ。国曲には黒人も東洋人もたくさん生活しているのです。

教会で行われた「ロミオとジュリエット」これは有料でしたが、それを観に行った時も白人ばかりで、まだまだ黒人などが参加できない雰囲気があるように感じました。住んでいたのはヴァージニアで、南部ですから。

「ワシントン国立図書館」なども見学しましたが、無料のツアーもあり、まるで博物館のように立派でした。



ニュー・ヨークのマンハッタンは、それぞれの図書館に特色があるようで、子供向けとか、ビジネスマン向けとかあるようでした。

「ニューヨーク公共図書館」では、9月1日の23日前に見学したので、それに関する市民からの手紙、新聞記事、写真など、たくさん展示してあり、また、2001年9月11日を、ありありと、思い出しました。

とにかく、観光に忙しく、ゆっくりに観ることもできませんでしたが、少しか感想を書きました。

「図書館友の会

全国連絡会」設立

私たち「おーい図書館」も、会として定期購読している「とよかん」96号(2004年5月15日発行)に次のような記事が掲載されました。

「とよかん」は、菅原峻さん主宰の図書館計画施設研究所が隔月発行している機関紙です。▽

呼びかけ

図書館友の会全国連絡会を

つくりましょう

図書館は、私達の知る権利、学ぶ権利を支える場であり、本

を読む楽しみを深める場であり、生活の情報源としても大切な施設です。

その図書館が「行政改革」の嵐に巻きこまれ、業務の民間委託をはじめ、人員削減、資料費削減などにより機能の低下が危ぶまれています。また、作家や出版業界からは、公営権の要求、複本購入やベストセラー本購入を問題視する意見が出るなど、出版不況の原因を図書館に向けているかのような発言が続いています。

しかし、このような図書館の問題に対して、図書館利用者の声が反映されることはほとんどありません。図書館をもっと楽しく活用したいと願っている全国各地の図書館利用者を主体とする団体はお互いの意見や情報を交換する機会・場をつくる必要があるのではないのでしょうか。

全国各地には個性あふれる多様

な図書館があり、様々な名称の下に個性あふれる多様な利用者を主体とする団体の活動があります。そこには多くの「発見」があり、「感動」があり、「知恵」があります。

私たちは図書館利用者を主体とする団体がお互いの意見や情報を交換し、交流するためのネットワークをつくることを提案します。今までも同様の声が聞こえてきましたが、誰かが始めなければならぬという認識のもとに、私たちは、相談会を重ねて、図書館友の会全国連絡会の設立を呼びかけます。

図書館友の会全国連絡会に参加し、交流を深めることで、図書館の未来が見えてきます。

皆さんの参加をお待ちしています。

○当面の活動

本年4月1日、業務開始。

5月、ホームページ開設予定。順次、「各地の活動の紹介」「意見交換」「情報提供」「交流等の仲介」を開始します。

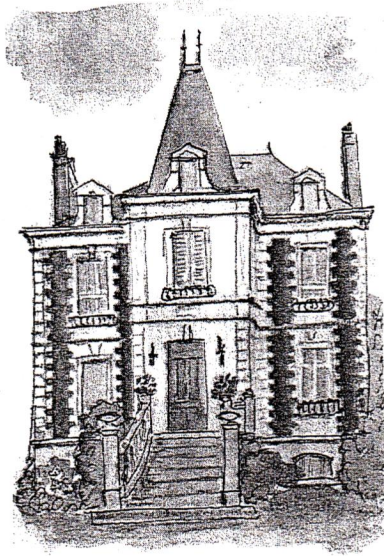
○呼びかけ団体

図書館ともたち・鎌倉

江東区図書館友の会

目黒図書館友の会

東京の図書館をもっとよくする会



7月定期例会では、上記の呼びかけ文を読み、話し合いました。その結果、私達も躊躇することなく賛同の意思表示をすることにしました。

すでに良い図書館が存在する所で、その利用についての提言等を行っているグループと私達のような会とでは、抱える問題や背景が違うので、すべてを同じ土俵で考えることはできないなど、難しい面はあると思います。しかし、しっかりした図書館構想や理念を共有し、それを全国レベルの政策の実現にまで発展・形成させることの必要性を痛感することの多い昨今、その解決のためにも、そして先進諸外国の図書館政策に近づくための第一歩としても、この全国連絡会の活動に賛同し、大いに期待したいと思っております。

(事務局)